

事務事業名		市道古城1号線道路改良事業		所属部	建設部	所属課	建設工務課	
総合計画体系	政策名	〈Ⅱ〉安全・安心で快適なまち〈定住環境〉		所属G	道路改良G	課長名	松村 直樹	
	施策名	〈12〉道路の整備		担当者名	内田 貴宏	電話番号	0854-40-1063 (内線) 2473	
	目的・対象	市民	意図	市内及び市外へ安全で便利に移動できる。				
	基本事業	〈034〉道路の新設・改良		予算科目	0:140:0:3	大事業名	市道道路整備事業	
目的・対象	道路利用者	意図	安全で便利に移動できる。				中事業名	起債道路整備事業
					1:015:0:3	中事業名		

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
市道及び市道利用者	道路利用者の利便性を高め、住民生活の向上を図る。
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (年度 ~) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (R5 年度 ~ R8 年度)	本路線は大東町大東地内において、大東高校生徒の通学路、周辺住民の生活道として重要な役割を担っている路線である。本事業により大東中央線と結ぶバイパス道路を新設することで、道路利用者の安全性と利便性向上を図る。 整備延長 L=135m 幅員W=5.0m
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R5年度実績(R5年度に行った主な活動) 道路詳細設計 用地調査	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?) 設計時に路線検討によるコスト縮減を図り事業費の抑制に努めている。

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R3年度(実績)	R4年度(実績)	R5年度(実績)	R6年度(計画)
ア 整備率(供用延長/整備計画延長)	%			0.0	0.0
イ					
ウ					
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R5年度決算)		② コストの推移		単位	R3年度(決算)	R4年度(決算)	R5年度(決算)	R6年度(計画)
【地方債】合併特例債 (委託費):14,238千円 (合計):14,238千円	財源内訳	国庫支出金	千円					
		県支出金	千円					
		地方債	千円				13,500	0
		その他	千円					
		一般財源	千円				738	0
事業費計		千円		0	0	14,238	0	

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	令和5年度は道路詳細設計・用地調査を実施した。令和6年度は用地交渉をおこない、令和7年度に用地取得、施工に着手する。
② 事業実施するうえでの課題	目標の達成には整備計画に基づき着実に事業進捗を図る必要がある。
③ 課題解決に向けた改革改善等	事業効果の発現には予算措置が必要となるが、市財政の圧迫に直結することから、道路整備計画に基づいた取り組みが重要となる。